

# いぶりの交通安全

● 悲惨な交通事故を減らすために

一人ひとりが、「交通事故を起こさない、交通事故に遭わない」という意識を強く持ち続けていくことが大切です。

事故の無い社会を築いていくため、車を運転するときは速度の出し過ぎによる危険性を認識し、歩行者に対し思いやりのある運転を心がけるよう、交通ルールの遵守や運転マナーの広報・啓発活動に取り組んでいます。

◎年齢別交通事故死傷者数（平成26年・胆振管内）

年齢層 区分	運 転 者								運 転 者 以 外	合 計
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50-64歳	65歳以上	小計	うち25歳未満		
件数(件)	26	197	131	165	241	247	1007	144	20	1027件
%	2.5	19.2	12.8	16.1	23.5	24.1	98.1	14.0	1.9	100.0%
死者数(人)	1	1	0	0	4	3	9	1	5	14人
%	7.1	7.1	0	0	28.6	21.4	64.2	7.1	35.8	100.0%
傷者数(人)	96	216	237	207	215	134	1105	204	131	1236人
%	7.8	17.5	19.2	16.7	17.4	10.8	89.4	16.5	10.6	100.0%

◎平成26年の交通事故による死者

全 国	4, 113人
北 海 道	169人
うち高齢者	75人
胆 振 管 内	14人
うち高齢者	7人

◎死者数（車両乗車中）のシートベルト・チャイルドシート着用

区 分	平成25年		平成26年	
	全 道	胆 振 管 内	全 道	胆 振 管 内
着用あり	51人	5人	56人	5人
着用なし	44人	5人	30人	4人
不 明	0人	0人	1人	0人
合 計	95人	10人	87人	9人

※「着用なし」の中には、シートベルトを着けていれば助かったケースがかなり含まれています。

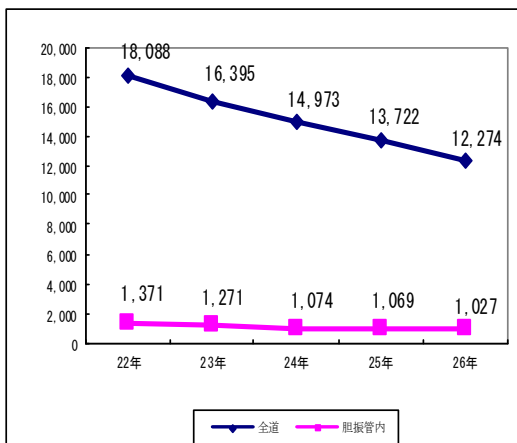
◎原因別交通事故死者数

	平成25年		平成26年	
	全 道	胆 振 管 内	全 道	胆 振 管 内
車両対歩行者・自転車	67人	4人	63人	5人
車両相互（正面衝突等）	77人	9人	58人	4人
車両単独（衝突・逸脱等）	39人	4人	48人	5人
踏切	1人	0人	0人	0人
合 計	184人	17人	169人	14人

- 交通事故に遭わないために
- ・ 歩行者・自転車利用者「夜行反射材」の活用
  - ・ 全ての座席で「シートベルト、チャイルドシート」着用

◎交通事故発生件数の推移

（単位：件）



◎交通事故死者数の推移

（単位：人）

